

祝 辞

本日、晴れて、宝達高校をご卒業される五九名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございませう。また、保護者の皆様方におかれましてもお祝い申し上げます。

入学してからの学校生活に対する希望と不安の中、この宝達高校に通い、学業、部活、学校行事等に取り組み、夢中で駆け抜けた三年間を、それぞれがいろんな思いを持って本日を迎えたことと思ひます。

おそらくというより間違ひなく充実した、また確実に成長を遂げることができた時間を過ごしたと思ひます。

そういつた環境を整えて下さった校長先生を始め教職員の皆様方には感謝の念が絶え

ません。本当にありがとうございました。また、本日このような厳粛で晴れやかな場を設けていただきましたことに保護者の一人として改めて厚く御礼申し上げます。

卒業は新たなスタートであり、自立と成長をさらにもたらし、新たな出遭いが待っていることでしょう。皆さんが成長していく姿は、遅しくもあり、少しだけ親としては寂しさが募るかもしれませぬ。しかし、自立していくことを誇りに思わない親は一人としていないでしょうし、協力を惜しまないと思えます。最大の理解者であり、支援者でもあります。

今、この場にいる沢山の人たちも同じです。友人、恩師、親御さん、いろんな人たちと繋がりを持っています。必ず支えてくれることでしょう。それこそが三年間の歩みが素晴ら

しいものであり、真実の絆があったと言える
と思います。

高校生活との別れは名残惜しいかもしれ
ませんが、新たな旅立ちです。人間の顔は前
を向いています。前を向いて進むためです。
目標をしっかりと見つめ、明るく歩みましょ
う。悩んだ時には立ち止り過去を見つめ直せ
ば、ここでの経験が勇気と自信を与え、現状
を再確認し、未来への指針を示してくれるに
違いありません。改めて卒業生の皆さんにエ
ールを送りたいと思います。充実した人生を
歩んで下さい。

最後になりましたが、保護者の皆様には
PTA活動に関しまして、多大なるご理解、
ご協力を賜りましたことに御礼申し上げま
す。簡単ではございますが卒業のお祝いの
言葉とさせていただきます。

平成二十八年 三月三日

宝達高等学校PTA会長 武部 秀康